



SAP Ariba 

機能の概要

Risk Category Information API

Geoff Fowler、SAP Ariba
一般提供予定: 2020 年 8 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

説明: Risk Category Information API

導入の難易度
対象エリア

● ハイタッチ
● グローバル

今までの課題

SAP Ariba Supplier Risk では、サプライヤごとに最大 15 個のカスタムフィールドをリスク影響度設定に追加することができます。

これらのカスタムフィールドにデータをインポートする場合、手動での CSV ファイルアップロードプロセスが必要となっていました。

そのためお客様は、こうしたデータをインポートするためのより体系的な方法を必要としていました。

対象ソリューション

SAP Ariba Supplier Risk
SAP Ariba APIs
SAP Ariba Developer Portal

SAP Ariba で問題解決

リスク影響度に関する最大 15 のカスタムフィールドの追加/編集を、API を使用して行えるようになりました。この処理には、CSV ファイルを使用してデータの更新とインポートを手動で行う従来のプロセスを使用することもできます。

カスタムフィールドのデータは、フィールドがリスク影響度スコアに寄与するかどうかにかかわらず、[リスク影響度] タイルに表示されるカテゴリにマッピングすることができます。

カスタムフィールドのデータはすべて、サプライヤのリスクプロファイルを介して、[リスク影響度] タイルの関連するリスクカテゴリの下に表示されます。

関連情報

該当ソリューションを使用しているすべてのお客様は、この機能を直ちにご利用いただけますが、**お客様の側で有効化の手順**を実行していただく必要があります。

主なメリット

外部 API を使用することで、リスク影響度の 15 のカスタムフィールドにデータを体系的にインポートする処理を、より柔軟に行うことができます。また、CSV ファイルを使用してデータを手動で更新/インポートする従来のプロセスを使用するか、外部 API による新しいオプションを使用するかを選択できるようになります。

API により、お客様固有のカスタムフィールドとともに、Supplier Risk で提供される認可プロバイダフレームワークに含まれていない認可プロバイダから提供されているカスタムフィールドを含めることもできます。

前提条件と制限事項

この機能を使用するには、SAP Ariba Supplier Risk のライセンスが必要です。

API 呼び出しの制限として、呼び出し 1 回あたりのサプライヤが 100 に設定されています。

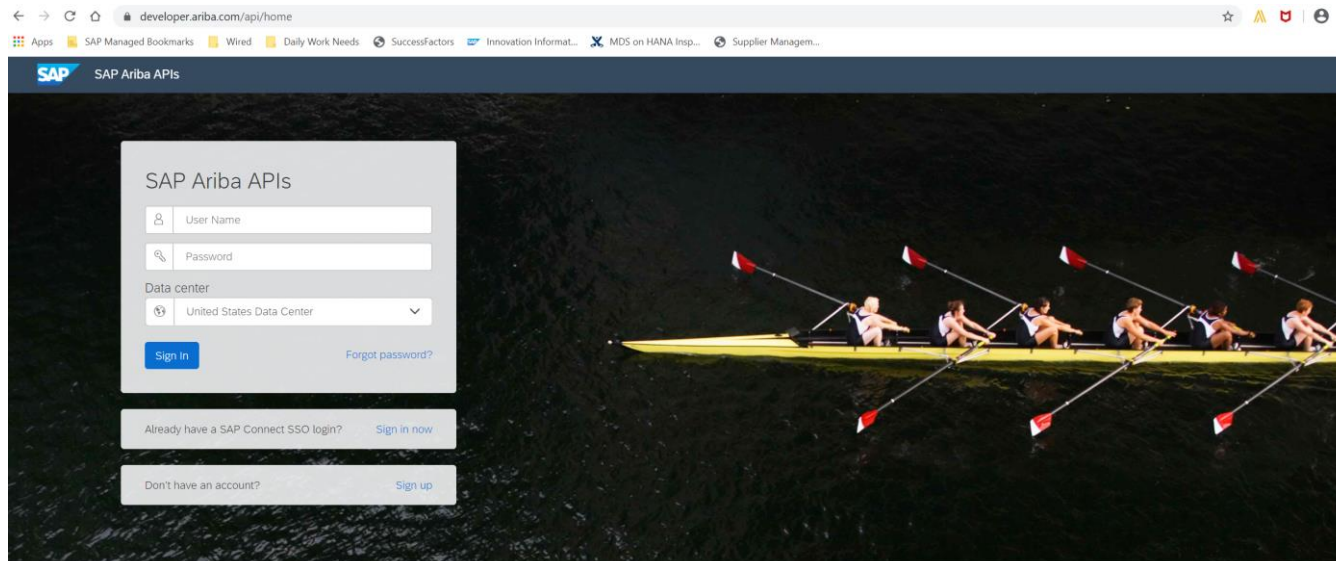
機能の概要

説明: Risk Category Information API

機能の詳細情報

Custom Field External API を表示するには、次のリンクを使用してください。<https://developer.ariba.com/api/>

ログインには、各自の認証情報を使用できます。アカウントがない場合は、[申し込む] リンクをクリックしてください。



Build powerful domain specific applications to address your customer needs using a rich environment and user friendly tools offered by SAP Ariba.

機能の概要

説明: Risk Category Information API

機能の詳細情報

サインインしたら、[Developer (開発者)] 領域 → [Supplier Management (サプライヤ管理)] に移動すると、利用可能な API を確認できます（画面の左側に表示されています）。

The screenshot shows the SAP Ariba APIs - us developer portal. The left sidebar lists REST APIs under the 'Supplier Management' category. The main content area displays details for the 'External Approval API for Sourcing and Supplier Management'.

REST

- External Approval API for Sourcing and Supplier Management
- Master Data Retrieval API
- Questionnaire Details-Kept for backward compatibility only
- Supplier Data API
- Supplier Data API With Pagination

External Approval API for Sourcing and Supplier Management

Version v2 (Active)

The External approval API for sourcing and supplier management processes external approvals for sourcing and supplier management tasks.

For complete documentation of this API, see [External Approval API for Sourcing and Supplier Management](#).

Rate Limit (Requests): No specific API limits in place for this API but dynamic run time throttling is in effect.

Release Notes

This is the second version

Environment Details

Environment	Description	Value
Production & Test URL	Runtime URL to access your test and production realm environments.	https://openapi.ariba.com/api/sourcing-approval/v2/prod
Sandbox (Mockbox) URL	Sandbox environment with mock sample data. This is not your test or production environment.	https://openapi.ariba.com/api/sourcing-approval/v2/sandbox
OAuth Server URL Prefix	OAuth Server used by the Cloud Business Applications.	https://api.ariba.com/

Detailed documentation [Download API Spec](#)

Schemes

- HTTPS

機能の概要

説明: Risk Category Information API

機能の詳細情報

SAP Ariba Developer Portal の使用方法に関するサポートとして、以下のような説明が提供されています。

- ユーザーアカウントを設定し、Developer Portal で使用するアプリケーションを登録する方法
- 利用可能な API を使用するアプリケーションを作成する方法の手順
- OAuth 認証ポータルを組み込む方法

SAP Ariba Developer Portal のヘルプガイドを使用してください。このガイドには、以下のリンクからアクセスできます。

<https://help.sap.com/viewer/b61dd8c7e22c4fe489f191f66b4c48d6/cloud/en-US/8907b13c87e240639be8f546251b1e35.html>

機能の概要

説明: Risk Category Information API

機能の詳細情報と最良事例

認可プロバイダを指定していない場合、リスク影響度の設定 UI を使用して認可プロバイダのカスタムフィールドを追加することはできますが、サプライヤレベルの詳細については、API を使用して関連付ける必要があります。

Supplier Risk Custom Fields API を使用する場合は、(SLP または SIPM を導入しているかどうかに応じて) サプライヤ/Sourcing のサプライヤをエクスポートして必要なサプライヤの SM ベンダ ID を特定し、この API でサプライヤレベルのデータを追加/編集する際に、関連付けられているサプライヤの SM ベンダ ID を使用する必要があります。

Custom Field API を使用してカスタムフィールドを追加/編集する前にリスク影響度設定ツールを設定する必要があります。

カスタムフィールドを作成する場合、カスタムフィールドの作成に個人を特定できる情報 (PII) を含めないようにすることをお勧めします。